必ずやろう！　六年生国語学習プリント

名前（　　）

※まずは、国語の教科書（一一二ページ～）「君へ」「いのち」を読みましょう。
※継続は力なり。いつも通り毎日音読しましょう。

◆国語の教科書「君へ（一一三ページ十五行目～）」を読んで答えましょう。

①筆者は、いのちを酸素や風にたとえて、どんなものだと述べていますか。

目に見えないもの。

②『星の王子さま』について、答えましょう。
（一）仲よしのきつねは、ものごとを見るのに、何で見なければよく見えないと言いましたか。

心

（二）どんなことが、目に見えないと言いましたか。

かんじんなこと。

③筆者は何を伝えるために、『星の王子さま』を引用したのですか。一つに○をつけましょう。
（　）ものごとの本当の姿は目に見えないこと
（○）いのちが目に見えない大切なものだということ
（　）心臓はいのちそのものではないということ

④心臓は、どんなはたらきをするものですか。

酸素と栄養をもつ血液を、脳や手や足へ送り出すポンプのはたらきをするもの。

⑤筆者は、いのちとはどんな時間のことだと述べていますか。二つ書きましょう。

君たちのもっている時間。

君たちが使える時間。

⑥「それはいのちを使うこと」の「それ」は、何を指し示していますか。

時間を使うこと。

⑦いのちと時間にはどんな共通点がありますか。

目に見えないけれど、もっていて使うことができる。

⑧いのちを使うことについて、筆者が読み手にいちばん伝えたいのは、どんなことですか。考えて書きましょう。

大きくなったら、自分以外のだれかのためにも、君たちのいのちを使ってほしい。

◆教科書は見ないで、問題に答えましょう。

一、――――の読み仮名を書きましょう

①（かいこ）　蚕のまゆ。
②（いよく）　意欲がわく。
③（じんあい）　仁愛の心。
④（ほうりつ）、　法律を守る。

二、（　）に漢字を書きましょう。

①（肺（はい））と心臓。
②世界（遺（い））（産（さん））
③人形（劇（げき））
④地図の（縮（しゅく））（尺（しゃく））
⑤妹の（誕（たん））（生（じょう））日
⑥※送り仮名も書きましょう。京都に（至る（いたる））

三、――――の読みを書きましょう。

①色紙で作った風車をくるくる回す。（いろがみ）（かざぐるま）
②初日の舞台あいさつで出演者が上手から登場する。（しょにち）（かみて）
③魚市場の食堂でいちばん人気が高いのはさしみ定食だ。（いちば）（にんき）

四、次の説明に合う文字を［　］から選んで書きましょう

①漢字の一部をとってつくられた。……（片仮名）
②漢字をくずして書いた形からつくられた。……（平仮名）
③三千年以上も前に中国で生まれた。……（漢字）
④ヨーロッパを中心に広く用いられるようになった。……（ローマ字）

［漢字　平仮名　片仮名　ローマ字］